

市民と議会の意見交換会 事前アンケート集計結果

回答数：35件

設問1 暮らしについて

① 暮らしの中で、今、困っていることはありますか？（複数回答可）

- | | | | |
|------------------------------|-----|-------------------------------|----|
| <input type="radio"/> 感染への不安 | 29人 | <input type="radio"/> 子どもの勉強 | 3人 |
| <input type="radio"/> 仕事への影響 | 16人 | <input type="radio"/> 経済的に苦しい | 1人 |
| <input type="radio"/> 人に会えない | 15人 | <input type="radio"/> 特になし | 2人 |

【その他（自由記述）

- 団体が例年継続している各種事業などすべて中止する事態となっていること
- 施設に入所している親と話しが出来ない
- 子どもの就職
- 集客、販促、イベントなど開催できない

② 健康面での変化はありましたか？

- あった 2人

【どのような変化？（自由記述）

- ・運動不足
- ・ストレス症状

- なかった 33人

③ 今、大切だと感じることは何ですか？（複数回答可）

- | | | | |
|--------------------------------|-----|-------------------------------|----|
| <input type="radio"/> 正しい情報 | 28人 | <input type="radio"/> 家族との時間 | 5人 |
| <input type="radio"/> 助け合う気持ち | 22人 | <input type="radio"/> 貯金など生活力 | 4人 |
| <input type="radio"/> 健康への意識 | 18人 | <input type="radio"/> 文化的な催し | 3人 |
| <input type="radio"/> 危機意識 | 17人 | <input type="radio"/> 友人との時間 | 1人 |
| <input type="radio"/> 人と直接会うこと | 10人 | | |

【その他（自由記述）

- 経済との両立、医療体制の拡充
- より迅速で有効な公的支援策

設問2 新しい生活様式と言われる中、あなたはこの変化をどう感じていますか？

※自由記述

- 人と人とお直接の接点はかなり少なくなっているが、これからの地域社会の在り方としては効果もあると思う
- 今後も留萌市民全体で新しい生活様式をよく理解し、それぞれの生活に合わせて実践を継続していくべき
- 今日の社会情勢の中では新しい生活様式を進めていかななくてはならないと思うが、コロナ後の未来像も同時に考えていかなければいけない
- コロナ感染防止のためには必要なことだと感じますが、ストレス・不安・健康等に負荷が出ているように思う。いろいろなガイドラインのもと、留萌市でもスポーツ・文化等のイベントを増やすことが必要
- 個人的には新しい生活様式をふまえて行動している。日々子どもたちと身近に接する仕事なので、今後も感染予防に努めるだけ
- ソーシャルディスタンス・3密を避ける・日々マスクの着用や手洗い・アルコール消毒など、コロナ禍においては当たり前のことだと思って生活することだと思ふ
- 感染を防ぎながらポジティブに生きる
- 現在の状況を考えると各自が自覚を持って生活する必要があると考える
- 感染予防のためには仕方ないと考える
- 日常生活の一部となっている
- 慣れると普通
- 特に変わりはない
- やむを得ないと思っている
- 最初は戸惑ったが、時間が経つにつれ馴れ、自然と意識できるようになってきた市外に行くときにはより意識を高めなければならず大変に思うことがある
- 遠出して帰ったあと、3週間くらいは体調の変化・感染状況の報道が気になる
- 不便を感じる。「普通」であることのありがたさを痛感した
- 密をさける、手洗い・うがい、マスク、換気など、自分ができる予防を続けているが、いつまでこの状態が続くのかという不安を感じる
- 今までとはまったく違うので生活しづらい
- 三密の為、人との接触が少ないので不便
- 習慣になるまでが難しい。経済がもたないのでは

設問3 リモートワークやオンライン授業について

① コロナ禍で、リモートワークやオンライン授業を行いましたか？

○ 行なった 15人 ○ 行っていない 20人

↳ その感想をお聞かせください

・とても良かった 3人 ・良かった 11人 ・良くなかった 0人

② 今後リモートワークやオンライン授業は増えると思いますか？

○ 増える 23人 ○ 増えない 2人 ○ わからない 7人

設問4 今年行けなかったイベントなどで特に残念だったものは何ですか？

- るもい呑涛まつり (5人) ※自由記述
- 中止になった全てのイベント
- 夏祭りすべて
- お祭り
- 夏のイベントは毎年楽しみにしているので残念
- 特産品を販売するイベント、PR ステージのあるイベント
- コンサート、マラソン大会及び各種運動の大会
- スポーツの大会 (学生の全道大会や全国大会など)
- 公的に協会が毎年開催している安全大会・個人的に参加予定だった各地のマラソン大会
- 主催事業のビーチバレー大会、マラソン大会
- 実施している「ふれあい広場」等の事業が開催できなかったことにより、市民へ福祉理解を深められなかったことが残念
- 年間行事が全て中止した事
- ハロウィン、ノルディックウオーク全道大会
- 所属する団体の旅行会
- お客様とのゴルフ会、旅行会
- ソロプチミスト帯広年次大会 (2名)
- 2020 さっぽろ落語まつり

設問5 いま留萌で行われるとしたら、出かけたと思うところはどこですか？

- 芸術的催し 13人 ○ 室内での飲み会 7人 ※複数回答可
- スポーツ行事 11人 ○ 講演会や研修会 7人
- ビアガーデン 8人 ○ 映画会等のイベント 4人

【その他 (自由記述)】

- 暖かくなったらビアガーデンは良いのではないか
- まだ人が集まる所には行きたいと思わない

設問6 あなたが身近に感じるコロナ禍における課題についてお聞かせください

※自由記述

- 道の駅や飲食店での感染対策の徹底
- 冬季の再発生への不安（コロナ、インフルエンザ）
- 直接会えないことにより、不便な街であると認識されがちなところ
- 大きな行事以外にも小さなご近所での集まりを自粛していることもあり、市民が安心して外に出て人と会える方法を考える必要がある
- 今般感染ルート不明が増えているのは、コロナ感染者に対する差別や SNS などでの公表が問題ではないか
- 高齢者が多い町内活動の、内容や方法を研究したい
- 料金を含めた気軽に受けられる検査体制
- 危機意識の低下（コロナ慣れや「新しい生活様式」が疎かになる等）
- 感染予防対策
- 感染者情報（感染後経過）の希薄
濃厚接触者・PCR 検査受信数・検査による陽性者数・陰性者数の開示
陽性者・検査後陰性と判断を受けた者の経過（治療中 or 自宅療養など）
- 北海道新型コロナウイルス感染症対策本部指揮室から通知があり、意識を高めるよう努めているが、保育環境の現状は密が避けられていない
- 課題は多岐にわたると思うが、何より感染者への差別をなくすことが大切
- 飲み会が減ってストレス解消ができない（外出等）
- ワクチンが行き届くまで経済回復は難しいのでは
- コロナ禍における各学校での授業の進め方や各行事の実施については、これまでと同様のことはしばらくできないと考えている。こうした状況が当分続くであろうことを見通し、その状況下においても子どもたちがワクワクして学習活動に臨み、確かな学力が身に付くようにするためにも、コロナ禍でもできること、コロナ禍だからこそできることを、もっともっと考えていかなければいけない。
- コロナについての正しい情報、with コロナへの転換
- これから冬を迎えるにあたり、今後コロナとどう付き合っていくか？今後のビジネス活動においてどんな影響が出てくるのか
- SNS などでの誹謗中傷
- 受診を控えるなど健康面、経済活動の不安
ワクチン・抗体の研究や治療薬が早くできてほしい
- 対コロナ医療に関するスムーズで正確な情報公開

設問7 コロナ禍においてこれからの留萌市に期待することは何ですか？

※自由記述

- 留萌市民・留萌市の子ども達の健康と安全のためにも、コロナウイルス感染症が留萌に広がらないようにするため、市民全体に「新しい生活様式」の実践を徹底するための啓発とコロナ禍であっても市民が安心して働けるような環境づくり、ICT等を積極的に活用した地域産業の振興を願う
- 幅広い業種・業界及び、今後コロナの影響が出る部分への支援
- 素早い対応を願う
- 市民団体がコロナ対策を講じた活動に対しての補助金はあるが、市民団体が活動を行うために対策講じる備品費等の補助があっても良いのではないか
- 市民との対話により、良い方策を考えすばやい実行をしてもらいたい
- 札幌市においては感染者が増えているが留萌は少ないので、留萌独自の対策を期待する
- 公平な対応
- 検査体制
- 期待というよりも、一日も早く薬の開発が整ってコロナが終息することを願う
- 希望通り検査を受けられる様、陰性、陽性をはっきりさせる
- 企業向けコロナ対策助成金制度（テレワーク設備、アクリル板購入など）
- 医療体制の拡充
- リモートワークの普及
- もしもの時の正しい情報（うわさだけが先走ってしまうので）
市民があまり神経質になってしまわないような情勢づくり
- コロナ禍で収入減になっている方への支援
- コロナに対する知識の普及
- Wi-Fiなど通信設備が留萌市内では整備が行き届いていないところがあるため、コミュニケーションを取れない方々も多くいる
誰でも地方の家族と顔を合わせられる整備が留萌市としてできれば不便な地域という認識はなくなるのではないか。通信網さえ整っていれば今はどこでも仕事ができる時代になってきているので、暮らしやすさなどをPRしてテレワークを誘致できないか考えて欲しい
- コロナ長期化予想がされており、ばらまきではなく結果を検討した対策の実施
地震や災害が起こった場合の対策と準備
- SNS等による公式情報システム